

事業番号	305
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	ポンプ場維持管理事業						担当部	上下水道部		
	会計区分	下水道事業特別会計			事業類型	法定受託系	担当課	下水道課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	維持係		
	総合計画 分野別計画	主目的	6 都市基盤		25 下水道		2 老朽管などの更新を推進します				
		副目的									
	予算区分	款	1	項	1	目	2	大	2	中	2
	根拠法令・個別計画	下水道法									
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	自然流下できない地区の汚水をポンプアップにより速やかに排除するポンプ場の適正な維持管理を実施する。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容 公共下水道は、原則自然流下により汚水を放流しているが、地形等の関係により強制的に汚水を排除する施設であるため、施設の長時間にわたる使用不能は自然流下できない地区の市民生活に重大な支障をきたすため、日常的にポンプ場の整備点検等を実施した。事務従事職員は、ポンプ場及びマンホールポンプの日常設備点検を業務委託するため、委託業務の設計書作成から設備点検状況の監督等を実施している。</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 保守管理委託等(14,113千円) 修繕料(8,281千円) 消耗品・光熱水費等(4,423千円)</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 保守管理委託等(15,273千円) 修繕料(13,030千円) 消耗品・光熱水費等(5,592千円)</p> <p>【その他財源の内容】 下水道使用料</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	38,848	34,001	26,817	33,895	
		正職員	従事者数	人	0.25	0.25	0.25	0.25
			人件費	千円	1,315	1,315	1,315	1,315
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計		千円	40,163	35,316	28,132	35,210	
対前年比		%		87.9	79.6	125.1		
財源	一般財源	千円	651	649	658	658		
	国・県支出金	千円	4,500	0	0	0		
	その他財源	千円	35,012	34,667	27,474	34,552		

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	日常定期点検実施日数	日	目標	295	293	294	293
			実績	295	293	294	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
ポンプの不具合件数	件	目標	0	0	0	0	
		実績	0	0	0		
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		事業の達成状況	
	事業実施における課題		保守点検を実施しているが、施設稼働後20年以上が経過し、各設備の主要部分の経年的な老朽化が進んでいる状況である。また、施設を維持管理していくため、保守点検等の業務をしている委託業者に対して適切な指示が出せる職員を育成する必要がある。	
	事業を縮小・廃止したときの影響		ポンプ場の適切な管理ができず、重大な不具合が発生した場合に、自然流下できない地区の排水を処理することができなくなり、市民生活に重大な支障をきたす。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	桃花台污水中継ポンプ場整備事業で電気設備の改築工事を行うため、保守点検業務とポンプのオーバーホールの効率的な作業計画を立てる。	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	自然流下できない地区の污水を揚水する施設として市民の生活環境上重要な施設であり、ポンプ場の維持管理は必要不可欠である。		
	27年度以降の改善案	担当の職員は、専門的な知識を得るための研修に参加し、施設を維持管理するために必要な資格を取得させる。 引き続き長寿命化計画に基づき、計画的な改築更新を行う。		

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。